

血液検査用ガンマーグルタミルトランスペプチダーゼキット

イクティア[®] XL '栄研' γ -GTP II

はじめに

γ -GTPは腎臓に最も活性が高く、肝臓、膵臓等でも比較的多く存在し、グルタチオンを介し細胞内へアミノ酸あるいはペプチドを取り込む機能をもっていると考えられています。血中では閉塞性黄疸、肝癌、アルコール性肝障害、慢性活動性肝疾患、薬剤性肝障害等で高値を示します^{1,2)}。

イクティアXL '栄研' γ -GTP IIは、血清または血漿中の γ -GTP活性を酵素反応速度法により測定する方法で、日本臨床化学会 (JSCC) 勧告法処方にに基づき自動分析装置用に開発した試薬です。



特徴

- JSCC標準化対応試薬です。
- 血漿測定が可能です。
- 使いやすい液状試薬です。
- 共存物質の影響がほとんどありません。

包装単位・貯蔵方法・有効期間

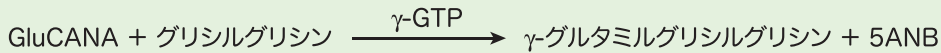
製品名	R1/R2	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間	適応機種例
イクティア [®] XL '栄研' γ -GTP II	試薬-1	60mL×4	G-QD01	2~8℃	10ヵ月間	日立7170
	試薬-2	30mL×4	G-QD02			
	試薬-1	80mL×4	G-QD03			日立7070
	試薬-2	80mL×4	G-QD04			
	試薬-1	400mL×2	G-QD05			日立7250
	試薬-2	200mL×2	G-QD06			

※ キャリブレーターは当社指定の酵素キャリブレーターをご用意ください。

測定原理

検体中の γ -GTPは、L- γ -グルタミル-3-カルボキシ-4-ニトロアニリド (GluCANA) およびグリシルグリシンを基質として γ -グルタミル-グリシルグリシンと5-アミノ-2-ニトロ安息香酸 (5ANB) を生成します。

5ANBは410nm付近に吸収極大をもつので、この吸光度の増加速度を測定して γ -GTP活性値を求めます。



使用目的

血清又は血漿中の γ -グルタミルトランスぺプチダーゼ(γ -GTP)の測定

測定範囲

4 ~ 2000 IU/Lまで直線性を確認してあります。

基礎データ³⁾

測定機器: 日立7180形自動分析装置

■ 同時再現性

単位: IU/L

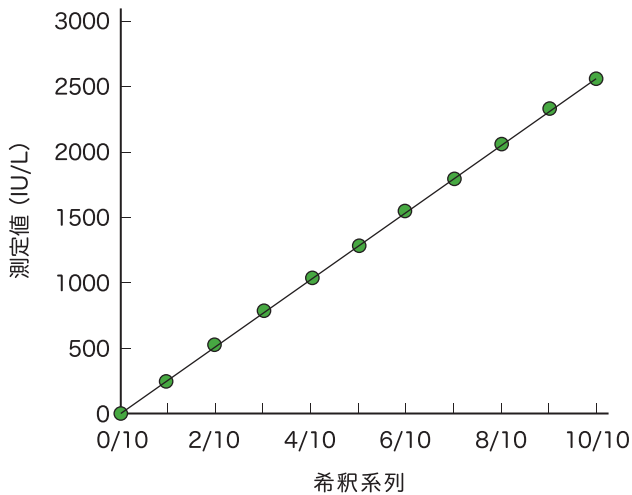
	試料1	試料2	試料3
N	20	20	20
Mean	31.3	66.2	127.8
S.D.	0.3	0.6	1.0
C.V.(%)	1.0%	0.9%	0.8%
Max.	32	67	130
Min.	31	65	126
Range	1	2	4

■ 妨害物質

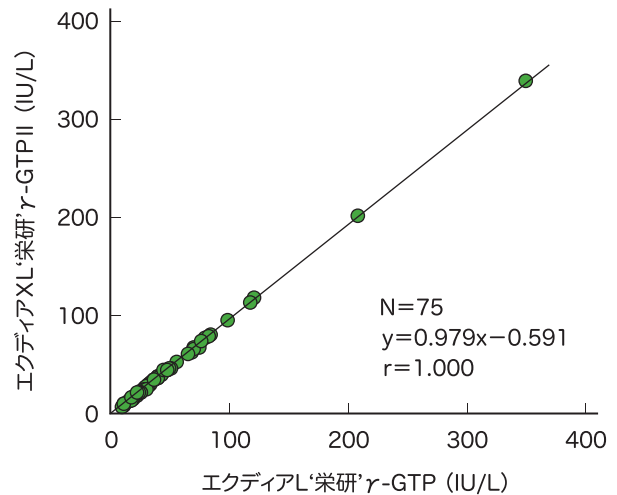
下記濃度まで測定値への影響は認められませんでした。

アスコルビン酸	20 mg/dL
遊離型ビリルビン	20 mg/dL
抱合型ビリルビン	20 mg/dL
ヘモグロビン	500 mg/dL
乳び	3000ホルマジン濁度

■ 希釈直線性



■ 相関性



主要文献

- 1) 金井 正光, 他: 臨床検査法提要, 改訂第32版, 金原出版, 東京, 624-626, 2005.
- 2) 堺 隆弘, 他: 日本臨床, 43(秋季増刊・上巻), :167, 1985.
- 3) 社内データ

本試薬の使用上または取扱い上の注意については、製品添付文書をご参照ください。